

丹波篠山市地域公共交通会議（ネットワーク全体の評価）

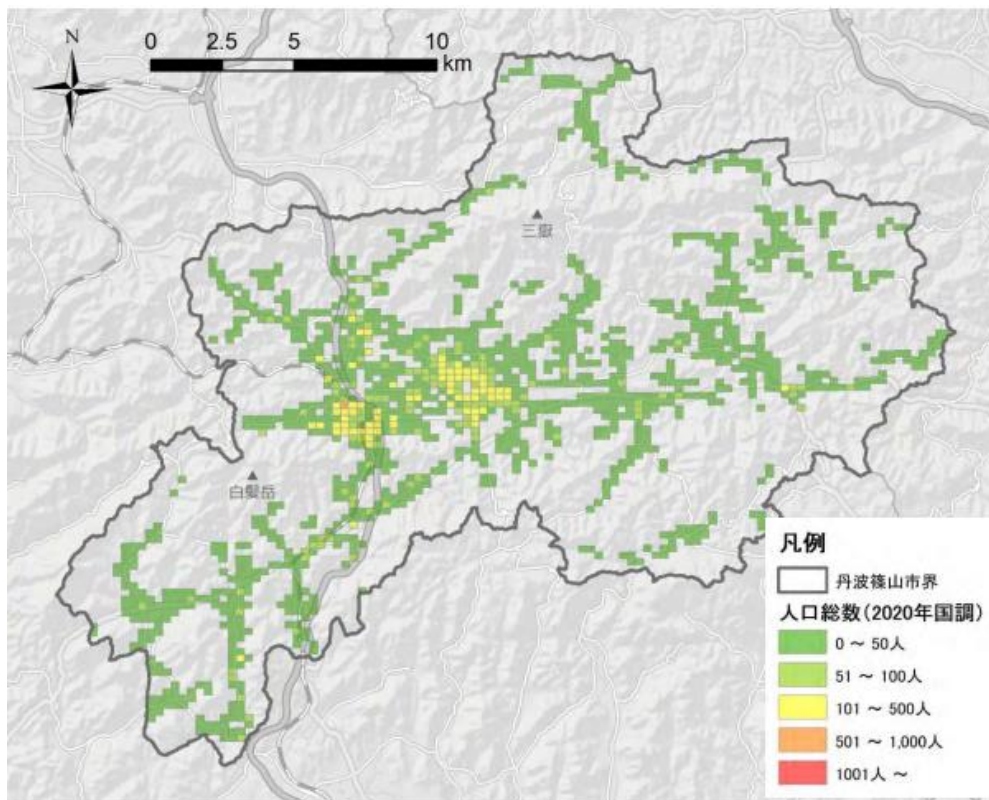
1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

1. 地域特性

- ・人口 38,543 人（令和 7 年 11 月末現在）
- ・総面積は 377.59 平方キロメートル。東は京都府、西・北は丹波市・加東市、南は大阪府・三田市などに隣接
- ・多紀連山と深山山地に挟まれた盆地に市街地が形成
- ・城下町と篠山口駅周辺に人口が集中する一方で、周辺部にも集落が広がっており、広い範囲に市民が居住
- ・市域が広く、谷筋に集落が伸びていることから効率的な公共交通の運行が難しい
- ・郊外を中心に高齢化率が高く、65 歳以上の高齢者が占める割合が 40%以上となっている地域が拡大

<人口分布図（2020 年）>



2. 丹波篠山市地域公共交通計画（R6～R10 年度）

- ・基本理念

「一人ひとりが安心して暮らすことができる丹波篠山の地域公共交通」

・基本方針

【基本方針1】

地域特性や観光等の様々なニーズに応じた持続可能な地域公共交通網の再構築

【基本方針2】

地域公共交通の積極的な利用促進

【基本方針3】

地域公共交通を維持する主体が連携して取り組む公共交通対策事業

・将来ネットワーク

現在、市内を運行しているコミバスハートランや乗合タクシー等、地域公共交通の利用者が非常に少ない地域や、財政負担額の大きい地域公共交通を運行している地域においては、既存の地域公共交通からデマンド型乗合交通に置き換え、新しいサービスによる財政負担額の軽減と利用者の増加を目指します。

位置づけ	役割	形態	路線
地域公共交通	鉄道幹線	市域を超えて市民や観光客等の来訪者の広域的な移動を支える	鉄道 ・ JR 福知山線
	バス幹線	丹波篠山市と隣接する丹南市、丹波市、三田市、加東市を結ぶ路線や篠山口駅、城下町から市内各地域を結ぶ路線で、通勤・通学の利用を中心に市民の日常生活を支える	路線バス ・ 篠山口駅～篠山営業所 ・ 篠山口駅～草山温泉 ・ 篠山営業所～柏原駅 ・ 篠山営業所～藍本駅 ・ 篠山営業所～福住方面 ・ 住吉台循環線 ・ 篠山鳳鳴高校・篠山産業高校スクールバス ・ 相野駅～清水寺 ・ 園篠線(京阪京都交通株)
	地域内ネットワーク	市内各地域の居住エリアから市内拠点・主要拠点を結ぶ交通モードで市民の日常生活や観光目的の移動を支える	一般乗合 市町村運営有償旅客運送 デマンド型乗合交通

	個別送迎	個々の需要に対応し、市民の日常生活や観光目的の移動を支える	一般乗用	一般タクシー
その他	目的別送迎	特定の目的に対応し、日常生活や観光目的での移動を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス ・福祉有償運送 ・グリーンスローモビリティ ・レンタサイクル 	

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添で添付して下さい。

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

・数値目標				
目標			現状値	目標値
目標1	地域公共交通の利用者数	鉄道	6,348 (人/日)	7,900 (人/日)
		(株)ウイング神姫	927 (人/日)	1,100 (人/日)
		京阪京都交通(株)	15.4 (人/日)	20.0 (人/日)
		市町村運営有償運送	17.9 (人/日)	18.0 (人/日)
		デマンド型乗合交通	-	18.0 (人/日)
目標2	公共交通対策事業に投じる費用	93,789 (千円/年)	140,000 (千円/年) 以下	
目標3	補助金を出している路線の収支率改善	34.9(%)	現状維持	

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

1. 公共交通に対する支援について

市民、交通事業者、行政が連携し、持続的で効率的かつ効果的な地域公共交通サービスの提供を目指すため補助を実施

令和6年度

●コミュニティバス運行補助金	27,201,000円
●バス路線活性化支援助成金	26,600円
●市単独バス対策等補助金	38,894,000円
●乗合タクシー運行助成金	1,244,100円
●上限運賃制事業補助金	24,187,320円
●公共交通ドライバー確保奨励金	150,000円

2. 新たな地域内交通の導入について

●デマンドバス「のり～な」

地域を支える公共交通の新たな交通サービスとして、令和6年11月1日より市東部地域においてデマンドバス「のり～な」の運行を開始。令和7年10月28日に市西部地域に運行エリアを拡大。

デマンドバスは、従来の路線バスやコミュニティバスと異なり、決まった時刻表やルートはなく、予約状況に応じて最適な経路で運行するバスとタクシーの中間的な交通サービス。

・運行地域

福住、日置、村雲、雲部、畑、城北（令和6年11月1日～）

城南、八上、大山、西紀南、岡野、味間、古市、今田（令和7年10月28日～）

3. モビリティマネジメントの実施

大谷大学の野村ゼミと連携し、地域公共交通の利用を促進することを目的としてデマンドバス、市町村運営有償旅客運送においてモビリティマネジメントを実施。

(1) 路線バス乗車体験会

福住地区から城下町までの乗車体験会を実施。ワークショップでお出かけカードを作成し、バスを使った外出のハードルを下げる仕掛けづくりを行った。参加者には神姫バスで発行している Nicopa カードを配布した。

(2) デマンドバス乗車体験会

福住地区においてデマンドバス試乗会を計 3 回実施。予約方法からスマホの使い方までレクチャーした。3 回目は乗り継ぎ体験会として、デマンドバスと路線バスを乗り継ぎ城下町までの移動を体験してもらった。参加者にはデマンドバスで利用できる回数券 2,200 円分を配布した。

(3)市町村運営有償旅客運送乗車体験会

大芋地区有償運送「にこにこ号」の乗車体験を実施。大芋地区から城下町まで移動し、ワークショップを行った。参加者には「にこにこ号」で利用できる回数券 2,200 円分を配布した。

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域内フィーダー系統確保維持補助事業	丹波篠山市	R6.10月 ～R7.9月	フ	対象地域の生活路線を継続的に維持する。

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
バス路線活性化支援補助成事業	丹波篠山市	R26～	路線バス等の乗車券購入に要する経費に対し、助成金を交付し、市内の路線バス等の維持確保及び利用増進を図る。
上限運賃制度	丹波篠山市	R3～	ウイング神姫路線バス及びコミバスにおいて、神姫バス発行のニコパカードで支払いを行うことで上限運賃 200 円が適用される。
ドライバー確保奨励金	丹波篠山市	H5～	地域公共交通を担う人材確保のため、市内に営業所のあるバス、タクシーのドライバーとして新たに就職された市内在住者に奨励金を交付。

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
丹波篠山市公共交通ガイド（まるいのナビ）作成業務	丹波篠山市	H24～	市内の公共交通情報を網羅したガイドを作成し、公共交通機関の利用を促進する。
市町村運営有償旅客運送運行業務委託	丹波篠山市	R3～	交通空白地の解消を目指し、市町村運営有償旅客運送（公共ライドシェア）を運行。 ○運行地区 ・大芋、後川、西紀北、西紀中、村雲（村雲地区は令和6年に運行終了）
ニコパカード販売	丹波篠山市	R3～	神姫バスが発行しているニコパカードを市役所と各支所で販売し、路線バス利用を促進。
中学生ニコパカード配布事業	丹波篠山市	R4～	市内高校の活性化や地域公共交通の確保維持のため市内中学校3年生にニコパカードを配布。
デマンドバス導入業務	丹波篠山市	R6～	交通空白地の解消を目指し、デマンドバスを導入。 ○運行地区 ・福住、日置、村雲、雲部、畑、城北（令和6年～） ・八上、岡野、西紀南、大山、味間、城南、古市、今田

（3）生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「（2）目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
上限運賃制度	ウイング神姫路線バス及びコミバスにおいて、神姫バス発行のニコパカードで支払いを	路線バス利用者数の増加

	行うことで上限運賃 200 円が適用される。	
ドライバー確保 奨励金	地域公共交通を担う人材確保のため、市内に営業所のあるバス、タクシーのドライバーとして新たに就職された市内在住者に奨励金を交付。	ドライバーの人材確保
丹波篠山市公共交通ガイドブック（まるいのナビ）作成業務	ガイドブックを毎年年度初めに全戸配布し、最新の公共交通情報を周知。	公共交通利用者数の増加
市町村運営有償旅客運送運行業務委託	大学と連携したモビリティマネジメントで乗車体験会を実施。	公共交通利用者数の増加
ニコパカード販売	以前はウイング神姫の営業所でのみの販売であったが、市役所と各支所で購入できる環境を整えた。	公共交通利用者数の増加
中学生ニコパカード配布事業	市内高校の活性化や地域公共交通の確保維持のため市内中学校3年生にニコパカードを配布。	市内高校の活性化、公共交通利用者数の増加
デマンドバス導入業務	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数が低迷していたコミュニティバス、乗合タクシー、一部市町村運営有償旅客運送を休止し、デマンドバスに一本化。 ・交通結節点での乗継割引の適用。 ・自治会の集会や福社会議などで説明会を実施。 ・「個別出張サポート」による利用方法の周知。 ・大学と連携したモビリティマネジメントで乗車体験会を実施。 	公共交通の利便性向上、公共交通利用者数の増加

4. 具体的取組に対する評価

鉄道利用

現状値	令和 6 年度	目標値
6,348 (人/日)	6,964 (人/日)	7,900 (人/日)

(株) ウイング神姫

現状値	令和 6 年度	目標値
927 (人/日)	949 (人/日)	1,100 (人/日)

令和 3 年度から上限運賃制を導入したことにより、利用者数が増加している。デマンドバスで交通結節点での乗継割引を導入して以降、交通結節点からの乗車が増加しているので、乗継割引を周知し路線バス利用者の増加につなげる。

京阪京都交通

現状値	令和 6 年度	目標値
15.4 (人/日)	18.9 (人/日)	20.0 (人/日)

京都方面まで通勤通学目的で利用されている重要な路線であり、今後も乗車券に対する助成事業を実施し、利用者の増加に努める。

市町村運営有償旅客運送

現状値	令和 6 年度	目標値
17.9 (人/回)	17.2 (人/回)	18.0 (人/回)

利用者は減少傾向にあるが、交通空白地を補完する重要な公共交通であるため、大学と連携したモビリティマネジメントを通じて利用者増加に努める。

デマンド型乗合交通

現状値	令和 6 年度	目標値
-	9.5 (人/日)	18.0 (人/日)

令和 6 年 11 月に市東部地域に導入し、令和 7 年 10 月に市西部地域での運行を開始した。利用者数は右肩上がりに増加しており、交通結節点での乗継割引を導入し、デマンドバスと既存の交通機関の利用を促している。

公共交通対策事業に投じる費用

現状値	令和 6 年度	目標値
93,789 (千円/年)	160,287 (千円/年)	140,000 (千円/年) 以下

令和 6 年度はデマンドバスを導入したことにより費用が大きく増加した。今後もデマンドバス運行に係るランニング費用や人件費・燃料費等の費用高騰による費用の増大など公共交通対策事業費に投じる費用は増加していくことが予想される。現状の公共交通サービスを維持しつつ、費用を抑制できるよう事業の見直しを実施していく。

補助金を出している路線の収支率改善

現状値	令和6年度	目標値
34.9 (%)	31.2 (%)	現状維持

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
高齢化による免許返納や運転手不足、人件費・燃料費高騰による減便などにより、移動困難者が増加することが予想される。公共交通を維持継続していくために限られた資源を有効活用し、効率的な公共交通網を目指す必要がある。	地域公共交通は移動手段の一つであり、買い物や通院などの日常の活動に必要な不可欠なものである。関係各所と連携し、地域公共交通の向上や更なる活用について恒常的に検討・実践する。

丹波篠山市地域公共交通会議（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況		
昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
該当なし		

2. アピールポイント、特に工夫した点など
該当なし

